

言語聴覚専攻科

専門実践教育訓練指定講座

医療・福祉・教育分野で
コミュニケーションや摂食嚥下に障がいを抱えた方の
自分らしい暮らしを援助する

プラス1の想い



Osaka Health Science University

医療・福祉・スポーツをリハビリテーションで支える

大阪保健医療大学

入試広報課
〒530-0043 大阪市北区天満1丁目9番27号
0120-581-834
TEL.06-6352-0093 FAX.06-6352-5995
✉ info@ohsu.ac.jp URL https://www.ohsu.ac.jp

大阪保健医療大学

保健医療学部 リハビリテーション学科

PT 理学療法専攻
Department of Physical Therapy

OT 作業療法専攻
Department of Occupational Therapy

専攻科(2年課程)

対象:4年制大学卒業生

ST 言語聴覚専攻科(専門実践教育訓練指定講座)
Postgraduate Course, Diploma Program in Communication Sciences and Disorders

大学院

夜間開講制

保健医療学研究科・保健医療学専攻[生活機能支援学分野]

- 脳神経疾患身体障害支援学領域「職業実践力育成プログラム」(BP)認定講座
- 運動器疾患・スポーツ傷害身体障害支援学領域(一般教育訓練指定講座)
- 認知・コミュニケーション障害支援学領域(一般教育訓練指定講座)
- 健康生活支援学領域



本学は公益財団法人
日本高等教育評価機構による
大学機関別認証評価で
適合の認定を受けています

2020年度

学生募集要項

プラス1の想い

ST

4年制大学卒業生対象[2年課程]

言語聴覚専攻科

専門実践教育訓練指定講座



医療・福祉・スポーツをリハビリテーションで支える

大阪保健医療大学

目次

大阪保健医療大学 言語聴覚専攻科ポリシー	2
入試概要	
募集人員	4
出願資格	4
入学試験日程	4
一般試験	
入学試験科目	5
入学試験時間割	5
特待生制度(授業料減免制度)	5
入試成績の開示について	5
出願手続	
出願方法(インターネット出願)	6
入学検定料	6
出願書類提出先	6
出願書類	7
出願に際しての注意事項	7
受験票について	7
入学試験についての注意事項	8
合格発表	8
入学試験会場案内	8
入学手続	
入学金・学費	9
教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)	10
授業料減免制度	10
奨学金制度ほか	10
個人情報の取り扱いについて	11
学校教育法施行規則	11

大阪保健医療大学 言語聴覚専攻科 ポリシー

1. 建学の精神

専門知識(学問)、技術(実習)、そして人間尊重(心)を兼備し、社会に貢献する人材の育成

2. 大学の目的

リハビリテーション医学・医療・福祉・保健を研究開発するとともに、高度な専門知識・理論及び応用を教授し、その成果を人間尊重の観点から広く応用できる21世紀にふさわしい人材の育成を目的としている。

3. 具体的な人材育成方針

対象者の理想を医学的・社会的見地に立って実現するために、傾聴と高いコミュニケーション能力をもってそれを理解し(傾聴とコミュニケーション)、自身が会得した最新の専門知識と技術に自信と誇りを持ち(自負)、対象者のためにそれを全力で活用するために、探求と創造の姿勢を持ち(創造)、対象者のために自身は何ができるのかを真摯に考える共感と献身の態度(献身・共感)を備えた人材を育成する。

4. 修了認定の方針(ディプロマポリシー)

本専攻科が目指すところは、大学の人材育成方針に則り社会に求められる臨床家、言語聴覚士を育成するところであり、その具体的な要件を示す。

- (1) 言語聴覚士国家試験に合格できる知識及び思考力を習得している(専門知識・技術)
- (2) 言語聴覚士の臨床に必要とされる知識・技能、思考力・判断力を身につけている(専門知識・技術)
- (3) 言語聴覚士として対象者のために自身は何ができるのかを真摯に考え、献身的、共感的態度が備わっている(献身・共感)
- (4) 言語聴覚士として探究と自己研鑽の姿勢を持ち、自ら学び、学ぶ意義を対象者の中に見出し、学びを還元することができる(創造)
- (5) 必要に応じて多様な人々と良好な関係を築くコミュニケーションスキルをもち、言語聴覚士として主体性を持って協働する態度を身につけている。(傾聴とコミュニケーション)
- (6) 言語聴覚士として誇りをもち、対象者の問題解決に向けて専門性を発揮し、最善を尽くすことができる。(自負)

5. 教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー) ※DPとはディプロマポリシーを示す。

ディプロマポリシーに示された要件を満たす言語聴覚士を育成するため、段階的、階層的な学びを可能とするカリキュラム編成とする。

- (1) 言語聴覚療法に必要な基礎知識、専門知識・技術、臨床能力を段階的、階層的に学ぶことができるカリキュラム編成とする(DP1、2)
教育課程に示す通り、専門基礎知識、専門知識及び技術、臨床実践能力が階層的に修得できるカリキュラムとなっている。
- (2) 臨床実習を講義科目と連携できるように配置し、知識と技術の統合を促す実学重視の科目配置とする(DP1、2)
臨床実習は3回に分けて実施し、各々「臨床の見学」「評価」「訓練」を主眼においた内容とする。
- (3) 段階的、階層的カリキュラムの履修にあたっては、次段階までに必要な知識・技術を十分に修得し次段階にステップアップできるように配慮する(DP1、2)
適宜個々人の修得状況を把握し、個別の修得度に応じた、また年次進行に応じた学修支援体制を導入する。
- (4) それぞれの科目がなぜ言語聴覚療法学の習得に必要なのかを明確にして教授する(DP1、2)
科目や学習内容について、言語聴覚療法におけるその位置づけと必要性を確認し教示する。
- (5) 大学が目指す人材を育成するためには、国家試験に合格し、国家資格を有することが前提である。
そのため、国家試験を意識したカリキュラム、講義を実践する(DP1)
国家試験出題基準を視野に入れた授業内容とし、模擬試験や講義、グループ指導等必要な対策を講じる。
- (6) 他者の主張や思いを理解し、対象者の問題解決や自己の課題に適切に対応する能力を身につける機会を設ける。(DP2、3、4、5、6)
グループ学習や対象者を招いて実施する講義、臨床実習を各学年の課程に組み、教員によるフィードバックを丁寧に行う。
- (7) 自ら学び探究する能力を養うための講義、演習を実施する(DP4)
グループ学習や対象者を招いて実施する講義での活動を通して、主体的に学ぶ場を提供する。

6. 入学者受入れの方針(アドミッションポリシー)

ディプロマポリシーを満たし、課程を修了するために必要な入学者受け入れ要件を示す。

- (1) 人々との交流を大切にし、相手の主張や気持ちを受け止め、主体性を持って多様な人々と協働し学ぶ態度を有している人
- (2) 言語聴覚士に必要な知識や技術を学ぶための基礎的な学力、思考力、判断力、表現力を有し、知識や技術を深めるための学習を実践できる人
- (3) 言語聴覚療法に必要な知識や技術の獲得に主体的であり、努力を惜しまない人
- (4) 豊かな人間関係を築くためのコミュニケーション能力を有する人
- (5) 言語聴覚士として生涯にわたって自己研鑽し、社会や健康増進に貢献しようとする強い意志を持っている人

入試概要

募集人員

言語聴覚専攻科	40名
---------	-----

出願資格

- 学校教育法に定められた4年制大学を卒業された方(2020年3月卒業見込者を含む)
- 学校教育法施行規則第155条第1項第1号から第6号の規定により
大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる方、及び2020年3月31日までにこれに該当する見込みの方

※【学校教育法施行規則】につきましては本誌P11をご覧ください。

入学試験日程

試験区分	試験回	出願登録期間 【最終日の20時59分まで】	入学検定料 【支払期限 20時59分まで】	出願書類提出期間 (必着)※	試験日	合格発表 (可否通知書 発送日)	入学金 納入締切日	第1期学納金 納入締切日
一般入試	第1回	5月 6日(月・祝)～5月18日(土)	5月18日(土)	5月 7日(火)～5月18日(土)(郵送) 5月20日(月)～5月21日(火)(窓口)	5月25日(土)	5月29日(水)	6月 5日(水)	6月19日(水)
	第2回	5月27日(月)～6月 8日(土)	6月 8日(土)	5月28日(火)～6月 8日(土)(郵送) 6月10日(月)～6月11日(火)(窓口)	6月15日(土)	6月19日(水)	6月26日(水)	7月10日(水)
	第3回	7月 1日(月)～7月13日(土)	7月13日(土)	7月 2日(火)～7月13日(土)(郵送) 7月15日(月・祝)～7月16日(火)(窓口)	7月20日(土)	7月24日(水)	7月31日(水)	8月14日(水)
	第4回	7月29日(月)～8月10日(土)	8月10日(土)	7月30日(火)～8月10日(土)(郵送) 8月19日(月)～8月20日(火)(窓口)	8月24日(土)	8月28日(水)	9月 4日(水)	9月18日(水)
	第5回	9月 2日(月)～9月14日(土)	9月14日(土)	9月 3日(火)～9月14日(土)(郵送) 9月16日(月・祝)～9月17日(火)(窓口)	9月22日(日)	9月25日(水)	10月 2日(水)	10月16日(水)
	第6回	9月23日(月・祝)～10月 5日(土)	10月 5日(土)	9月24日(火)～10月 5日(土)(郵送) 10月 7日(月)～10月 8日(火)(窓口)	10月13日(日)	10月16日(水)	10月23日(水)	11月 6日(水)
	第7回	10月14日(月・祝)～10月26日(土)	10月26日(土)	10月15日(火)～10月26日(土)(郵送) 10月28日(月)～10月29日(火)(窓口)	11月3日(日・祝)	11月 6日(水)	11月13日(水)	11月27日(水)
	第8回	11月4日(月・振替)～11月16日(土)	11月16日(土)	11月 5日(火)～11月16日(土)(郵送) 11月18日(月)～11月19日(火)(窓口)	11月24日(日)	11月27日(水)	12月 4日(水)	12月18日(水)
	第9回	11月25日(月)～12月 7日(土)	12月 7日(土)	11月26日(火)～12月 7日(土)(郵送) 12月 9日(月)～12月10日(火)(窓口)	12月15日(日)	12月18日(水)	12月25日(水)	1月 8日(水)
	第10回	12月30日(月)～1月11日(土)	1月11日(土)	1月 6日(月)～1月11日(土)(郵送) 1月14日(火)(窓口)	1月18日(土)	1月22日(水)	1月29日(水)	2月12日(水)
	第11回	1月13日(月・祝)～1月25日(土)	1月25日(土)	1月14日(火)～1月25日(土)(郵送) 1月27日(月)～1月28日(火)(窓口)	2月 2日(日)	2月 7日(金)	2月14日(金)	2月28日(金)
	第12回	1月 29日(水)～2月 8日(土)	2月 8日(土)	1月30日(木)～2月 8日(土)(郵送) 2月10日(月)(窓口)	2月16日(日)	2月19日(水)	2月26日(水)	3月11日(水)
	第13回	2月24日(月・振替)～3月 7日(土)	3月 7日(土)	2月25日(火)～3月 7日(土)(郵送) 3月 9日(月)～3月10日(火)(窓口)	3月15日(日)	3月17日(火)	3月23日(月)	3月23日(月)

※郵送の場合、締切日必着／窓口受付時間:10時～19時

●1月～3月の月日はすべて2020年です。

●いずれの日程も再受験可能です。

一般入試

入学試験科目

教科・科目等	時間	配点	合計点
国語総合(古文・漢文除く)	60分	100点	100点
小論文 (800字以内・与えられたテーマについての論述)	60分	100点	
面接	15分程度	100点	100点

※小論文、国語総合のいずれか高得点の科目と面接の計200点満点で合否判定。
※国語総合はマークシート方式。 ※面接は出願状況により1～3名で行います。

入学試験時間割

集合	9:00	※面接は、11時50分より順次実施します。 ※各自の面接開始時間は当日発表します。
国語総合	9:15～10:15	
小論文	10:35～11:35	
面接	11:50～	

特待生制度(授業料減免制度)

一般入試(全13回)の各回において、下記の要件を満たした者には授業料を減免する。
対象者 各一般入試の総合得点第1位の合格者で、特待生候補者として認定されたもの。
減免額 1年次の第1期授業料・施設設備費(総額25万円)

入試成績の開示について

受験者本人から請求があった場合に限り入学試験の成績を開示します。
成績開示を希望する方は、以下の要領でお申し込みください。

- 開示請求対象者
受験者本人(代理人による請求は認めません)
- 開示内容
・各科目の得点および総合得点
・該当入試における合格最低点(総合得点)
- 請求方法
○請求期間
2020年5月1日(金)～6月30日(火)
○提出書類
①「入学試験・個人成績開示請求書」
※本学ホームページより、ダウンロードできます。
②「入学試験受験票」
※入学試験受験票を紛失した場合は、「受験票紛失届出書」と「身分証明書のコピー」を合わせて提出してください。
- 申込方法
・上記の書類を請求期間内に、窓口に提出してください。(受付：平日9:00～17:00)
- 開示方法
・簡易書留郵便にて、「入学試験・個人成績開示請求書」に記載された住所に送付いたします。

出願から入学手続まで

- 入学試験日によって、入学金及び第1期学納金の納入日が異なります。
- 合格通知を受けた合格者は、入学手続期間内に手続書類を提出し、入学金及び第1期学納金を納入締切日までに納入してください（学費等については本誌P9を参照してください）。
指定期日内に納入されない場合、合格者は入学を辞退したものとみなします。
- 2020年3月31日(火) 17時までに入學辞退届を提出し受理された場合は、入学金以外の第1期学納金・各種会費等はすべて返還いたします（払込手数料を除く）。

出願手続

出願方法(インターネット出願)

①事前準備

パソコンまたはスマートフォンから本学HP「インターネット出願」をクリック。
「インターネット出願ガイダンス(出願登録手続きサイト)」ページの「はじめに」から「インターネット出願ガイド」をダウンロードしてください。

②出願に必要な書類などを準備

「インターネット出願ガイド」を参照して、出願に必要な書類などを準備してください。

③出願登録を行う

パソコンまたはスマートフォンから本学HP「インターネット出願」をクリック。「インターネット出願ガイダンス(出願登録手続きサイト)」ページの「出願登録」および「出願内容を確認」から、画面の指示にしたがって登録内容を入力してください。

登録内容

- ①出願情報(試験区分)
- ②志願者情報
- ③入学検定料支払方法

支払い方法

- クレジットカード ○コンビニエンスストア
○銀行ATM(ペイジー) ○ネットバンキング
※別途支払手数料が必要です。

④入学検定料を支払う

選択した支払い方法に従って、支払期限までに入学検定料を支払います。

⑤出願書類の印刷・郵送

入学検定料の支払い後、「インターネット出願ガイダンス(出願登録手続きサイト)」ページの「出願内容を確認」から【出願確認票】
【封筒貼付用宛名シート】をダウンロードし、A4で印刷してください。【任意の角2封筒】に【封筒貼付用宛名シート】を貼り付けて【出
願確認票】、【入学志望動機書】、【成績証明書(大学)】、【卒業(見込)証明書(大学)】の出願必要書類(P7参照)を封入し、《出願書類
提出期限》に間に合うように郵送または持参してください。

⑥出願完了

入学検定料

30,000円（2回目以降は15,000円となります）

出願書類提出先

大阪保健医療大学 2号館
〒530-0043 大阪市北区天満1丁目17番3号 TEL:06-6354-0091

出願書類

下記必要書類を【封筒貼付用宛名シート】を貼り付けた【任意の角2封筒】に封入し、速達・書留郵便として郵送(郵送受付期間)または本学へ持参(窓口受付期間)して、出願してください。

必要書類	
出願確認票	※必要項目をWeb入力後ダウンロード
入学志望動機書	※本学所定様式をダウンロードして手書き
成績証明書(大学)	※大学院は不可
卒業(見込)証明書(大学)	※大学院は不可

※ 出願確認票、入学志望動機書は、本学ホームページ「インターネット出願ガイダンス」からダウンロードしてご利用ください。

その他	
入学検定料 30,000円 2回目以降の入学検定料は半額 15,000円	クレジットカード、 コンビニエンスストア、 銀行ATM(ペイジー)、 ネットバンキングからの選択し、支払期限までにお支払いください。 ※別途支払手数料が必要です。
写真データ ※カラー・白黒は問いません。 ※試験日から遡って3ヵ月以内に撮影した 上半身無帽のもの ※試験時間中に眼鏡をかける方は 眼鏡をかけて撮影してください。	①出願サイト上でアップロードする必要があるため、 出願を行うパソコン、スマートフォン等に写真データを 保存しておいてください。 ②写真は出願登録および入試当日の本人確認に使用します。

出願に際しての注意事項

- 出願には余裕をもち、出願書類の準備(写真データ、成績証明書、卒業(見込)証明書、検定料払込み)・郵送等は早めに行ってください。
- いったん受理した出願書類、入学検定料はいかなる理由があっても返還できません。
- 身体の機能に障がいのある方・負傷者、疾病者等については、その程度に応じ、受験時や入学後の本学での学習・生活に特別な措置・配慮を必要とする場合がありますので、出願に先立ち必ず事務局・入試広報課 ☎0120-581-834へご相談ください。

受験票について

1. 出願書類の受理、入学検定料の入金が確認されると「デジタル受験票ダウンロード指示メール」が届きます。出願ガイダンスページの「出願内容を確認」にアクセスして「デジタル受験票」をダウンロードし、印刷して大切に保管してください。
2. 試験日の2日前になってもメールが到着しない場合は、事務局 06-6354-0091 へお問い合わせください。
3. 入学試験当日は受験票を必ず携帯してください。
万一、受験票を紛失したり忘れた場合は、会場事務局もしくは試験監督者に申し出て指示を受けてください。

出願から入学手続まで

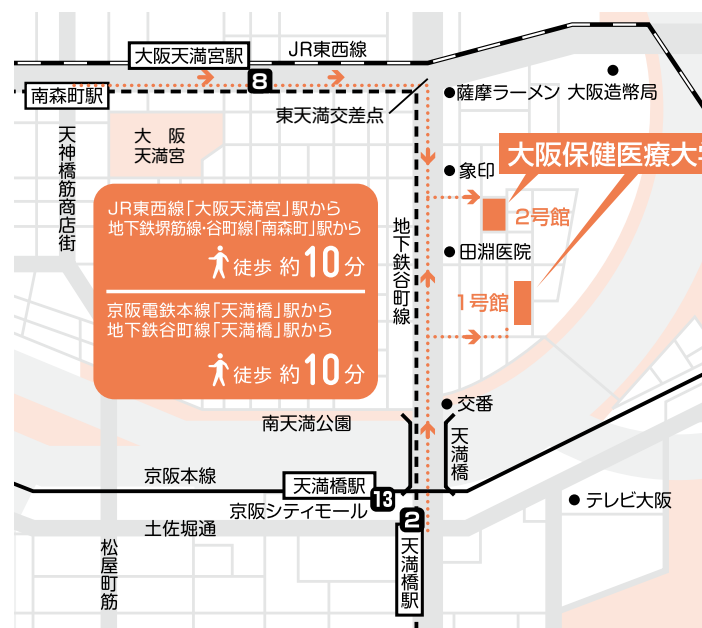
入学試験についての注意事項

1. 受験生は、集合時間までに試験会場に入り、試験監督者の指示に従ってください。試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
2. 受験票は、試験当日必ず携帯し、万一、受験票を紛失、または忘れた場合は、会場事務局もしくは試験監督者に申し出て、その指示に従ってください。
3. 試験会場においては、必ず自分の受験番号と同じ番号の席に着席してください。
4. 試験時間中は、受験票を常に机上に置いてください。
5. 受験票の他に試験時間中、机の上に置けるものは、黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、時計（時計機能だけのもの）、眼鏡だけです。
6. 教室内に時計はありませんので、必要であれば持参してください（携帯電話不可）。
7. 試験監督者の「やめ」の指示に従って直ちに筆記具を置き、解答をやめてください。着席したまま試験監督者の指示に従ってください。試験監督者の指示のないうちは、退場できません。
8. 試験時間中は、手洗所に行くことは原則としてできませんが、やむを得ない場合は、試験監督者に申し出てください。
9. 携帯電話等の電源は必ず切って、アラーム機能等も必ず解除してください。
10. 試験の際、不正行為があった場合、直ちに退場させることがあります。
11. 上履きは不要です。
12. 試験会場においては、ここに記載した以外の注意事項を含め、すべて試験監督者の指示に従ってください。
13. 面接順序によっては、終了時刻が午後になりますので、昼食をご用意ください。（試験会場の外に出ることはできません。空時間に受験者待機室でおとりください）
14. 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザなど）にかかり、治癒していない場合、その感染症が他の受験生や監督者に拡がるおそれがありますので、原則として本学入学試験の受験をご遠慮願います。入学試験を欠席する場合は、入学試験当日(9:00～12:00)までに、試験会場 06-6352-0093(1号館) または06-6354-0091(2号館) へご連絡ください。

合格発表

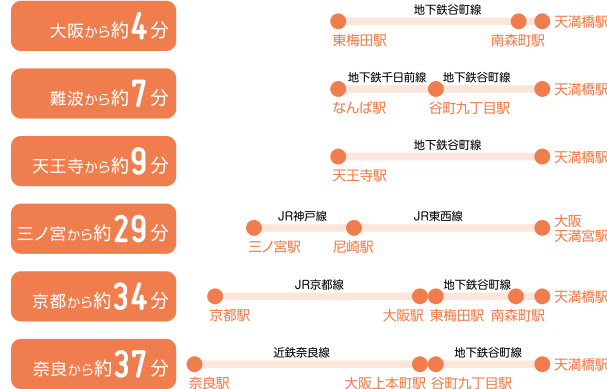
- 合否結果についてご本人に速達郵便で通知します。学内掲示等による合格発表は行いません。
- 電話等による合否のお問い合わせには一切応じることができませんが、合格発表日から3日以上経過しても通知が届かない場合は、事務局 06-6354-0091 へお問い合わせください。

入学試験会場案内



当日の会場については、
受験票をご確認ください。

会場：大阪保健医療大学 1号館
大阪保健医療大学 2号館



※掲載各駅より大学最寄り駅までの最短所要時間です。所要時間に乗り継ぎ時間などは含みません。

入学手続

入学金・学費

年 次		入学金	学納金		合 計
			授業料	施設設備費	
1年次	第1期(入学前※)	300,000	200,000	50,000	550,000
	第2期(6月末日)	—	180,000	50,000	230,000
	第3期(8月末日)	—	180,000	50,000	230,000
	第4期(10月末日)	—	180,000	50,000	230,000
	第5期(12月末日)	—	180,000	50,000	230,000
	第6期(2月末日)	—	180,000	50,000	230,000
2年次	第1期(4月末日)	—	200,000	50,000	250,000
	第2期(6月末日)	—	180,000	50,000	230,000
	第3期(8月末日)	—	180,000	50,000	230,000
	第4期(10月末日)	—	180,000	50,000	230,000
	第5期(12月末日)	—	180,000	50,000	230,000
	第6期(2月末日)	—	180,000	50,000	230,000

※入学試験日によって、入学金及び1年次第1期学納金の納入締切日が異なります。(P4参照)

1. 学外実習に伴う費用(交通費は除く)は授業料に含まれています。
2. 各種会費等(各年次の第1期学納金納入時)

1年次	校友会費	20,000円
	学生自治会費	10,000円
	学生生活補償管理費	10,000円
	教育講演会費	5,000円
	補助教材費	10,000円
	計	55,000円

2年次	—	—
	学生自治会費	10,000円
	学生生活補償管理費	10,000円
	教育講演会費	5,000円
	補助教材費	10,000円
	計	35,000円

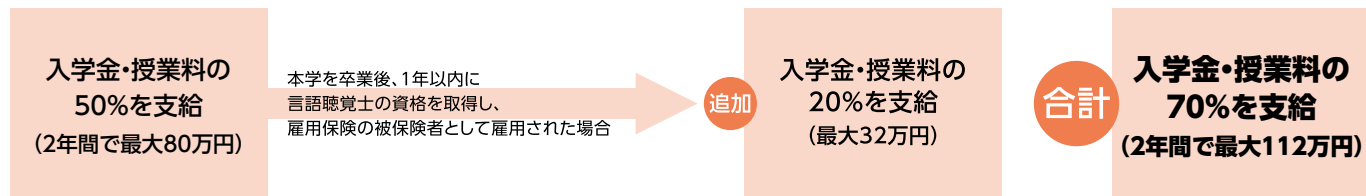
3. 教科書・教材費等は別途実費徴収となります。
4. 入学手続時納付金を全額納入し入学手続を完了後、やむを得ない理由により入学を辞退する場合、2020年3月31日(火)(17時)までに入学辞退届を提出した者に限り、入学金を除く第1期学納金・各種会費等を返還します(振込手数料は除く)。

出願から入学手続まで

教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)

大阪保健医療大学の言語聴覚専攻科は、厚生労働省より「専門実践教育訓練講座」の指定を受けています。

教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)により ※一定の条件を満たした場合



■教育訓練給付とは？

一定の条件を満たすことで、教育訓練経費(入学・授業料)の50%(2年間で最大80万円)相当が2年間支給される制度です。学費を納付後、半年ごとに支給されます。キャリアアップを目指す在职者・離職者を支援する制度です。

■給付を受けることができる方

本学に入学する時点で、通算して2年以上の雇用保険の被保険者期間を有している在職者または、過去に通算して2年以上の雇用保険の被保険者期間を有し、入学日から遡って1年以内の離職者。

詳しくはハローワークやHPなどでご確認ください。

■問い合わせ先

お住まいの地域を管轄するハローワーク ◎ハローワークホームページ <https://www.hellowork.go.jp/>

授業料減免制度

【授業料減免制度】

本学では、下記の3種の減免制度があります。

- ・特待生制度(授業料減免制度)
- ・経済的な理由が生じた学生を対象とする授業料減免制度
- ・標準在学年数を超過した学生を対象とする授業料減免制度(適用人数:有資格者全員)

特待生制度(授業料減免制度)

一般入試(全13回)の各回において、下記の要件を満たした者には授業料を減免する。

対象者 各一般入試の総合得点第1位の合格者で、特待生候補者として認定されたもの。

減免額 1年次の第1期授業料・施設設備費(総額25万円)

奨学金制度ほか

【日本学生支援機構 奨学金】

- ・第一種奨学金(無利子)
貸与月額／自宅通学者
2万・3万・4万・5万4千円
自宅外通学者
2万・3万・4万・5万・6万4千円
返還期間／最長20年以内
- ・第二種奨学金(有利子、利率3%上限)
貸与月額／2万・3万・4万・5万・6万・7万・8万・9万・10万・11万・12万より希望する奨学金を選択
返還期間／最長20年以内
※2018年度実績

※貸与条件については、日本学生支援機構HPをご確認ください。

※本学入学後に募集を行います。
詳しくは、本学入学後、4月に奨学金説明会を実施いたします。

【国の教育ローン(日本政策金融公庫)】

本学の入学者または在学者は、「国の教育ローン」を利用することができます。「国の教育ローン」は、教育のために必要な資金を融資する公的な制度で、入学時や在学中の費用として幅広く使うことができます。

利用できる方……………本学に入学・在学する学生の保護者または本人

ローンの金額……………350万円以内

ローンの対象……………入学・授業料・教科書費用・下宿費用等
(1年間にかかる費用)

返済期間……………15年以内(交通遺児家庭、母子家庭、父子家庭または世帯年収〈所得〉200万円〈122万円〉以内の方は18年以内)

利息……………年1.78%(2018年11月現在)

返済方法……………①毎月元利均等払い(ボーナス月(年2回)の増額返済可能)
②在学期間中は利息のみの支払いが可能(元金据置)

問い合わせ先……………教育ローンコールセンター(日本政策金融公庫国民生活事業)
ナビダイヤル 0570-008656
※ナビダイヤルがご利用いただけない場合は
03-5321-8656におかけください。
<http://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

個人情報の取り扱いについて

入学試験の出願にあたって提出された入学志願書等に記載されている個人情報については、個人情報保護法に基づき厳重かつ適切に管理し、以下の利用目的の範囲内で利用します。提出された個人情報は、業務の円滑な実施のためにデータベースに登録することがあります。また、業務の一部を、本学より学外の業者(以下「委託業者」)に委託することがあります。業務委託にあたり、委託業者に対して、お知らせいただいた個人情報を開示することがあります。予めご了承ください。

【個人情報の利用目的】

- 1) 入学試験に関わる受験票や可否通知の発送
- 2) 事務連絡
- 3) 入学試験の結果判定
- 4) 入学手続の案内や確認
- 5) 新入生の受け入れ準備
- 6) その他、前述の範囲内で、これらに付随する事項を行うための利用

学校教育法施行規則

第155条 学校教育法第91条第2項又は第102条第1項本文の規定により、大学(短期大学を除く。以下この項において同じ。)の専攻科又は大学院への入学に関し大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。ただし、第7号及び第8号については、大学院への入学に係るものに限る。

- 1 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- 2 外国において、学校教育における16年(医学を履修する博士課程、歯学を履修する博士課程、薬学を履修する博士課程〈当該課程に係る研究科の基礎となる学部(修業年限が6年であるもの)に限る。以下同じ。〉又は獣医学を履修する博士課程への入学については、18年)の課程を修了した者
- 3 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年(医学を履修する博士課程、歯学を履修する博士課程、薬学を履修する博士課程又は獣医学を履修する博士課程への入学については、18年)の課程を修了した者
- 4 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年〈医学を履修する博士課程、歯学を履修する博士課程、薬学を履修する博士課程又は獣医学を履修する博士課程への入学については、18年)の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- 4-2 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年(医学を履修する博士課程、歯学を履修する博士課程、薬学を履修する博士課程又は獣医学を履修する博士課程への入学については、5年)以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- 5 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 6 文部科学大臣の指定した者
- 7 (略)
- 8 (略)



メ 毛 欄

教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)とは？

一定の条件を満たすことで、教育訓練経費（入学金・授業料）の**50%**（**2**年間で最大**80**万円）相当が2年間**支給**される制度です。学費を納付後、半年ごとに支給されます。

キャリアアップを目指す在職者・離職者を支援する制度です。

さらに 本学を卒業後、1年以内に言語聴覚士の資格を取得し、
雇用保険の被保険者として雇用された場合は

20%（2年間で最大32万円）の追加支給を受けることができます。最高で**合計70%（2年間で最大112万円）支給**されるため、社会人の方は必見！

対象となる人は？

本学に入學する時点で、通算して2年以上の雇用保険の被保険者期間を有している在職者または、過去に通算して2年以上の雇用保険の被保険者期間を有し、入学日からさかのぼって1年以内の離職者

在職者
雇用保険の
被保険者期間通算
2年以上
(入学時点)

離職者
雇用保険の
被保険者期間通算
2年以上
離職日がさかのぼって
1年以内

給付を受け取るための流れ

これまでの雇用保険による給付状況や諸条件により、受給できない場合がありますので、最寄りのハローワークで、給付できるか必ずご確認ください。

ハローワーク
<https://www.hellowork.go.jp/>

専門のキャリア・コンサルタントによる訓練前キャリア・コンサルティング^{※1}を受けて、就業の目標、職業能力の開発・向上に関する事項を記載した「ジョブ・カード」^{※2}の交付を受ける必要があります。

※1 キャリア・コンサルタントについては、最寄りのハローワークにお問い合わせください。
 ※2 ご自身の能力や将来への希望などを整理し、明らかにしていくツールです。

※2 ご自身の能力や将来への希望などを整理し、明らかにしていくツールです。

申込期日は1ヶ月前

申請は、入学の1ヶ月前までに手続きを行う必要があるので、キャリア・コンサルタントを受ける期間を考え、できるだけ余裕をもって、ハローワークに行くことをお勧めします。そうしたことから、本学への早めのご出願をお勧めいたします。